

■ コート設営 ■

1. アリーナ全体のモップかけ、及びコート内のポール穴などは、「消しテープ」で止めておく。
2. コートの区画線の確認 このとき交差する同色のラインは、内外60cm位を「消しテープ」で消す
3. 各コートの主審の位置を決める
4. ポールを立て高さを決める（1cm高くする）
5. ネットを張る
 - ① ネットをかけ、上端のケーブルがぴんと張るまで巻く
 - ② ここで1回目の高さの計測（計3回以上）
 - ③ ここからは、1人専任でエンドラインの中央に立ち、位置を指示する(左右の間隔を見る)
 - ④ 片方のネットの位置を決める。
 - ★椅子などを使い、上端ロープを両方で同時に引っ張って同じ感覚になるようにしながら、片方を少し狭くしてロープを結ぶ
 - ⑤ 反対側の上端のロープを強く引っ張って位置を決めロープを結ぶ
 - ★ここでポールとの間が左右等間隔でしっかり張れていることを確認する
 - ⑥ 下端も片方を決めて結び、反対側を引っ張ってしっかり張る
 - ⑦ 高さ計測
 - ★サイドバンドとアンテナを付けると少し下がることを計算して、ネット中央を5mm程高くしておく
 - ⑧ 補助ロープを確認する。マス目と補助ロープの結方とマス目位置を確認
 - ★上部から3・3・4マス目が望ましい
 - ⑨ 両端の補助ロープを結ぶ
 - ★左右対称になる様注意する。ポールを使い張りも確認しておく
 - ⑩ サイドバンドとアンテナを取り付ける。
 - ★サイドバンド → サイドラインの上
 - ★アンテナ → 2本サイドバンドの外側とアンテナの内側の間隔は20cm
 - ⑪ サイドバンドとアンテナの固定
 - ★サイドバンド →
 - i 「白・軟テープ」で、ネット上部をしっかり留める
 - ii その下の首を止める。
 - iii 中間2箇所を留めてからアンテナを取り付ける
 - iv その後サイドバンドの下部を留める
 - ★アンテナ → 2本のアンテナはネット両面に左右対称する形で取り付ける
上部と下部をしっかりテープで留める（試合中落ちないように）
 - ⑫ 高さ計測
 - ★一人がネット尺を持ち、もう一人が確認する
 - ★測り終えたネット尺は、副審側に置くので
 - ① ネット中央 → ② 主審側 → ③ 副審側 の順序で測るとよい
 - ★ネット中央は、2.05m 両端（サイドバンドの位置）は2.07mを超えてはならない
 - ⑬ ポールカバーを付ける

■ 審判台・記録席・点示板の用意 ■

コートの周りサイドライン外側は最小 3mまで、エンドライン後方は最小限5mまで支柱・審判台・ネット以外の障害物があってはならない

- ◆ 審判台 安定感があり、高さの調節ができるものが望ましい
- ◆ 記録席 記録席は支柱の左右対称に配置。
(主審から見える位置を確保すること優先)
- ◆ ベンチ アタックライン延長線上からエンドライン方向へ(6個)並べる
下に敷くシートは「消しテープ」で留める
- ◆ 点示板 基本的には、コートの真後ろが良い。
会場によって無理な時は、主審・副審・記録席からよく見え、観客席からも見える位置が良い
*点示の最初は 00-00 ではなく、 0-0 で表示
上が試合順 下がセット数

《 最 後 に 》

コート設営は審判の知識が必要ですが、競技の仕事も入ります
全面審判委員の仕事ではありませんので、大会により、競技の指示が必要になってきます、協力しながらよろしくお願いします